

5 令和5年度 人権教育の年間指導計画(全体)

○生涯にわたり、思いやりの心を持ち、協調の精神をもって行動する生徒の育成「一人一人の命が輝く生徒の育成～多様性を尊重し、それぞれの自分らしさが生きる集団づくり～」

墨田区立吾嬬第二中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権尊重に関わる内容をふまえて学級目標を設定する。	仲間との関わりの中で自己を見つめ自分の価値に気付く。	路上生活者に対する偏見・差別をなくし、理解し支援する姿勢を養う※「道徳」にリンク(三期の長期休業前に、継続して指導をおこなう)			行事を通して互いを理解しあうとともに、互いを尊重することの大切さに気づく。	互いを認め合い思いやりをもった人間関係を作ることを中心とした指導			12月までの生徒の状況行について、本人課題の達成と課題解決に着目して把握する。	互いに思いやりをもち共生社会を生きる生徒の育成 誰もが過ごしやすい社会をつくらうとする態度を育てる指導 1年の活動を振り返り、成果と課題を整理させ、上級学年への進級意識を高める。	
各教科	理科:多様な活動を通して、自然と人間との関わり方や生命を尊重する態度を育てる。(実験)(2分野 自然と人間)	社会地理:世界および日本各地における人々の生活の様子とその変容について、自然および社会的条件と関連づけて理解させ、人々の生活や環境の多様性を理解させる。(世界と日本の地域構成)		社会:日本の歴史を正しく知るとともに海外とのつながり、また差別の歴史に理解を深める。(八広小1～5年)			美術:形や色の美しさなどを深く感じ取ることの感性を高め、豊かな情操を養う。(3年卒業制作)		英語:外国の言語や文化に対する関心を高め、国際社会でともに生きる心を育てる。(言語活動)			
特別の教科 道徳	<B(7) 礼儀> 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	<C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実> 学級や学校の一員として、集団の中で自分の役割と責任感を育てる。	<C(12)社会参画・公共の精神> 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもち、よりよい社会の実現に努める態度を育てる。	<C(13)勤労> 将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する意欲を育てる。	<B(6) 思いやり・感謝> 思いやりの心をもって人と接するとともに、人間愛の精神を深める態度を育てる。	<B(8) 友情・信頼> 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う態度を育てる。	<B(9)相互理解・寛容> 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの味方や考え方を理解しようとする態度を養う。	<C(11)公正・公平> 正義と公平さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見をなくしていくとする態度を育てる。	<A(3)向上心、個性の尊重> 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度を育てる。	<D(16)郷土の伝統と文化の尊重・郷土を愛する態度> 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会一員としての自覚をもって郷土を愛する心育てる。	<C(15)よりよい学校生活・集団生活の充実> 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚を持つとする態度を育てる。	
特別活動	学級活動:学級目標や自分の目標を考える。	学級活動:宿泊行事・運動会に向けての仲間作り。自分の居場所づくり。集団の中の一員として他者を認める意識作り。	ボランティア:身近な奉仕活動を通して、社会に役立つ喜びを味わい、共に生きることの必要性を実感する。	文化祭・合唱コンクール:互いの学習の成果を発表し認め合う場を持ち、相互協力の大切さに気付く。	生徒会役員の選出を通し、自治的意識の涵養と責任感を高める。	The Forum for Azuni Students and Teachers (人権集会):生徒の学習成果を人権集会で発表し、全校で共有することを通して人権意識の向上を図る。		校外学習(1年)移動教室(2年卒業遠足(3年)集団行動・生活を通して、他に対する理解を深め、課題解決を積極的に図る。				
総合的な学習の時間	宿泊学習のための課題学習(1年生):集団生活の一員としての役割を果たすため、自ら及び集団としての行動を考える。(延期)	1年:人権尊重をテーマにした標語を作る。	地域産業体験学習(1年):皮革産業に関わる製作活動を通して、職業への理解(八広小1～5年)	共生社会(1年):自分たちが住んでいる環境を見直し、障害がある人と共に生きることへの理解を深める。	人権についての学習(2年):学年全体で人権課題ごとについてその知識理解を深める。(差別の構造・同和・外国人・障害者・子どもなど)(SDGsに関する学習)	2年:人権尊重をテーマにした作文を書き、人権課題に対する意識を高める。	部落の歴史と差別(2年):部落問題について基本的な知識を学ぶ。	移動教室のための学習(2年):雪国の生活を通して様々な人の生き方を学ぶと共に、民宿での生活において温かい人間関係を築くための自己目標を設定する。	修学旅行のための課題研究(3年):伝統文化への理解を深める体験活動のための課題学習。(延期)	人権宣言(3年):文化発表表にむけて学年生徒全員による人権宣言を作成。人権感覚の育成	部落差別・同和問題(3年):一番身近で起こっている差別について正しく理解し、社会の偏見や差別をなくしていくこととする態度を育てる。	吾嬬二中の人権宣言(3年):これまでの学習を通して学んだことを通じて共生社会について改めて考える。
その他	年間を通して読書活動を行い、人権課題についての理解を深める。	インターネット活用の自主ルールを作る学習をとおしたいじめ防止。	あいさつ運動(通年):あいさつを通して地域や学校生活での温かい人間関係の基礎をつくる。	人権講演会:路上生活者の立場を理解し、偏見・差別をなくそうとする態度を育てる	保護者会等:三者面談を通し生徒の生育歴や実態に応じた教育上の課題を把握する。	研究授業月間:人権に関わる目標をふまえて、教科や道徳の授業を行う。	障害者理解(2年):障害がある人とともに生きることへの理解を深める。(高齢者、マスク、車椅子、点字、手話)	ふれあい給食:地域の高齢者との交流を深める。	生徒会活動(通年):人権尊重を啓発する標語を設け、生徒間相互の望ましい人間関係の基礎を作る。また生徒会主催の人権集を開き、生徒の人権意識の向上を図る。	学校運営連絡協議会 学校の人権教育についての評価と今後の課題を検討する。		
教員研修	校内研修: 生徒理解と人権教育の理解	校外研修: 施設見学と人権理解				校内研修: 発達段階に即した人権教育の構築	校外研修: 皮革産業の理解・地域視察					

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更になることもある。